

## 最近、はじめたこと。…



校長室の廊下側のドアの隣には、レイ君とファル君の写真がはってあります。普段は裏向けなのですが、彼らが登校(?)しているときは、その写真を表向けてあります。すると、廊下を通る子どもたちがそれを見て、「今日は、レイ君(ファル君)が来てる！」と嬉しそうな声をだして通っていきます。廊下で子どもたちの声がすると、校長室にいるレイ君(ファル君)は、自分のことを呼んでくれていると思い、顔を廊下方に向けて耳をピンと立てます。(言葉は発しませんが、自分が今いるところや、自分のことを大切に思ってくれる子どもたちのことはしっかりと理解しています)



その写真の下に、1ヶ月ほど前から「赤い郵便ポスト」をつけてあります。このポストを時々ぞくと、中には低学年(1年生、2年生)の子どもたちが「挑戦」した算数プリントが箱一杯に入っています。実は、このプリントは1年生、2年生の子どもたちが教室の前においてあるレタートレイに單元ごとに入れてある算数のプリントなのです。

子どもたちが「自主的に」このプリントに挑戦して、それを私が『まるつけ』をして担任の先生を通じて子どもに返すというものです。全部正解ならば、プリントには『Good!!』と書いてありますが、間違いがひとつでもあれば、間違った問題のヒントと一緒に『がんばれ!!』というメッセージをそえています。間違ったところがある子どもは、そこをやり直して再度ポストに入れます。そしてまた私がそれを見て、間違いがすべてなおっていたらそこで合格となります。もし、まだ間違っていたら、またまた子どもたちはその直ちに挑戦します。そして、自分ですべてにまるがつくまで「挑戦」を続けます。

これを読むと、最後まで「挑戦」せずに、何度か間違ったらもうあきらめてしまうのではないかと思われるかもしれませんが、今のところ「あきらめた」子どもはいません。時間がかかっても、またポストに自分のプリントを入れにきます。そして、最後はすべての問題をしっかりと終えます。



内容的にはさほど難しいものではないのですが、これをやることで「自主的に学習する習慣をつけてほしい」と、「ものごとを途中であきらめずに最後まで頑張ることの達成感」を経験してほしいと思っています。

現在、本校では、3年生4年生と5年生6年生には、それぞれ少人数指導の先生がおられます。そして、算数の授業については様々な工夫を凝らして、少しでも子どもたちの理解が深まるような指導を担当の先生と一緒にさせていただいています。

1年生2年生については、まだそういった少人数指導はおこなっていませんが、この初期段階で、子どもたちが、「自主的に」「楽しみながら」算数のプリント学習に取り組むことで、彼らが学習することの楽しさ、わかることの楽しさ、最後までやりとげることの充実感…といった、『学習の動機付け』(こう言うとちょっとおおげさに聞えますが)になるような気持ちをもってくれたらと考えて、1年生2年生の担任の先生に相談したところ、賛成していただけだったので、まるつけは私で返却は担任の先生の先生という分担ではじめたのです。



1年生、2年生の全員がやっているわけではありません。あくまで「自主的に」が目的のひとつですから、強制はしません。しかし、まるつけをしていると、時として「これまで見なかった名前」に出会えます。これは嬉しいです。きっと、クラスの友だちがやっているのを見て、自分もやってみようと思ったのだと思います。

すぐに結果に結びつかなくても、続けることでだんだんと、子どもたちの「大きな自信」ができてくればと思っています。1年生、2年生のお家の方々へは一度、この「校長先生がまるつけをしてくれる算数プリント」のことを子どもにそれとなく訊いてみてください。

☆ この写真は最近のレイ君です。家でテーブルの前の椅子にきちんと座ってカメラ目線です(実は、大好きな「おやつ」をもらうのを待っているのですが…)

To be continued (次号に続きます)